昭和60年11月11日第三種郵便物認可　毎月１回１日発行

HOLSTEIN
ホルスタイン通信

2014-5

平成26年５月１日発行　通巻第７２１号
発行所　北海道ホルスタイン農業協同組合
〒001-8555 札幌市北区北15条西5丁目
電話 011-726-3111 FAX 011-726-3135
ホームページアドレス http://www.holstein.or.jp
発行人　専務理事　齋　藤　眞　澄
編集者　参　事　藤　澤　義　美

主な項目

◆『主な意見・要望と回答』平成25年度地区組合員協議会 … １頁
◆ ゴールデンナショナルセール出場牛受付開始 …… 6頁
◆『克冬制夏』神内ファーム21を訪れて …… 8頁

平成25年度地区組合員協議会
主な意見・要望と回答

平成25年度地区組合員協議会（概要は３月号に掲載）が終了し、組合員の皆様から多くのご意見と要望をお聞かせいただきました。その貴重なご意見等につきましては、すぐに対応できるものと今後充分に検討協議して行かなければならないものがありますが、今後とも組合員の皆様のご意見要望を踏まえ、より良い組合運営に取り組んでまいります。

今回の協議会で、いただきましたご意見と要望につきましては下記の通りでしたのでご報告いたします。

≪総務関係≫

１．組合員の加入推進をすると言うことだが、方法や地区別の組合員比率を教えてほしい。（後志道南）
・組合員が減るということが今ホル農協の大きな問題だということで、ナショナルショウ出品者で未加入の人に加入を促したいということはいいことと思っております。（根室）

ANS：全道の酪農家における組合員数は1,000名程度なので比率では14%くらいとなります。地区ごとの酪農家戸数と組合員の比率は、総じて、酪農家戸数の多い道東が低い傾向にあり、組合員が1,000名をきりそうなので、増やしていくことを１月の理事会で提案したところです。先ず、第一段階として、組合の一大事業であるナショナルショウ出品者のなかで組合員になっていない方にお願いすることになりました。最も組合員数が多かったときは約1,300名。酪農家戸数もおそらく10,000戸以上あった時代だと思います。全道的にみて比率としては10%を切っていたと思います。それが今は14%以上ありますので、酪農家戸数からいくと組合員比率は下がっておりません。また、ご指摘のある加入のメリットとして、これまでの事業はもちろん、新たに検討しているのは、ご提案のあったナショナルショウの名簿代を徴収しないような形も考えております。〔３月初旬に対象の農家に対し、加入推進に向け、文書を送らせていただきました。お近くにそのような方がおりましたら、ぜひ加入に向けお誘いくださいますようお願いいたします。〕

写真は空知・留萌地区協議会

≪登録・検定・改良関係≫

1．ゲノミック検査は生後どのくらいでできるのか。また、結果が出るまでどのくらいの時間がかかるのか。（石狩）

ANS：生まれてすぐに毛根採取し検査可能です。期間は、成績公表（2・5・8・11月）の3ヵ月前までに毛根を家畜改良事業団に送付する必要があります。

2．ゲノミック評価について、信頼度の向上が課題とのことだが、一定水準以上の信頼度を得るためには何年くらいかかるのか。また、世界のゲノミック評価はかなり進んでいるようだが、世界と同水準のゲノミック評価が確立可能なのか。今後の展望を聞きたい。（十勝・宗谷・空知留萌）

ANS：ゲノミック評価の信頼度について、現在、日本では約4,000頭の雄牛のSNP情報があります。従って一定の利用はできますが、北米に比べるとかなり少ない状況です。そこで雌牛のゲノミック解析を進め、リファレンス集団の拡大を図っています。早期に多くの雌牛のゲノミック情報を収集したいのですが、国費事業等で進めているため、検査可能頭数に限りがあり現時点で期間に言及することは難しい状況です。また、今後の計画についてですが、現時点ではゲノミック選抜を積極的に進める状況にありません。それよりも、現状の後代検定と並行し、滞りなくゲノミック評価法を確立することが求められています。ゲノミック選抜が主流になることで今までやってきた乳牛改良は何だったのかとの意見もありますが、決してそのようなことはありません。例えば乳量に着目すると、かつて個体平均5,000～6,000kgだったものが9,000kgまで改良されてきました。これは皆さんのこれまでの乳牛改良に対する努力の賜物だと思います。しかし、今後、未経産牛のゲノム評価値が公表されてくるなかで、現状の後代検定のあり方が問われることになると思いますし、ゲノミック選抜の積極的な活用が求められるかもしれません。当組合としては、関係機関・団体と連携して、酪農家の皆様にメリットのある情報を発信していきたいと考えています。

3．SNP検査では、毛根を200本採取との事だが、もう少し採取本数を減らして検査を出来るようにしてもらいたい。また、同時に、血縁関係や登録関係を一括してDNA検査をし、それによってセットにして料金を下げて頂きたい。（上川）

ANS：毛根の必要本数は昨年度から調べており、アメリカではだいたい100本以内です。家畜改良センターとも協議しておりますが、なぜ200本必要なのかというと、もし、毛根が小さくてDNAの抽出が出来なかった場合、何度も採取しなければならず、また、SNPの型判定が出来なかった場合を調べてみると、尾房の毛根ではなく、別の箇所から採取している毛であることが分かってきました。皆様がきちんと尾房の毛根採取をしていただくことに徹底していただければ、もう少し少ない本数で検査する事が可能なので、今後交渉していきたい。

親子鑑定はマイクロサテライト法というのが正式な方法で、SNP検査は簡便的な方法です。実際、SNP検査をしてみると、父親・母親の違う可能性がまれに出てきます。しかも、登録上は疑いが有るとしか言えないことから再検査をお願いするケースがあります。今後SNPによる判定を正式な方法とすべく世界ホルスタイン連盟などでは検討しており、近い将来登録・血液判定などを一体化させた一つの流れのなかでSNP検査を行う事ができるかと思います。〔SNP検査に伴う毛根の採取については、検査機関である（一社）家畜改良事業団との協議が終了し、この4月から、尾房からの毛根採取の厳守を条件に100本となりました。〕

≪ナショナルショウ関係≫

1．ナショナルショウの昨年のスケジュールはジュニアカップを含めて、未経産クラスが連続して実施され見やすかったし、大変良かったと思う。しかし、今年はジュニアカップがインターミディエイト終了後ということで、審査の流れ的に疑問を感じる。また、セールが開催されていることもあり観客が少なくなるだろうし、その状況は出品する子供たちやジュニアホルスタインクラブの関係者にとって如何なものか。ジュニアカップは、後継者育成の一環として重要な行事であると思う。また、ジュニアカップ終了後に酪農教室もあり、参加する子供たちにとっては過密スケジュールであると思う。昨年同様の昼の時間帯にジュニアカップを開催することが望ましいと思うが。（十勝）

ANS：ジュニアカップについては、確かに日中に実施すれば、ある程度の観衆が見込めますし子供たちにとっても良い経験になると思います。

しかし、結果的に昨年は審査の進行がかなりずれ込み、ゴールデンセールまたは酪農教室の開始時刻が大幅に遅れました。このようなことから、先般の経済企画委員会において協議した結果、審査の進行に遅れが生じても時間調整が出来るよう少しでも余裕のある日程にすることを考慮し、一昨年の日程に戻し昼の休憩時間を設けることにしました。ご指摘の事項は十分認識しています。その様な点を踏まえながらよりスムーズなショウ運営ができるよう日程調整したい。〔理事会では、各地の意見を総合して検討し、今回提案の日程が承認されました。〕

2．管内では、共進会に出てくる牛は、三か月令くらいからまずは5種の生のワクチンを打って、そのあとに不活化を二回打ち、抗体がついていきます。その後、5種の不活化を一年ごとに打っていけば、ずっと抗体がつくという形でやっている。そのなかで市場にも上場出来て、九州や沖縄にまで行ける形になっている。不活化をするということは、5種の生を打っていることで、抗体がついているはずなのです。そういうなかで共進会に出場するのですから、5種混不活化ワクチンをぜひとも今後認めていただきたい。（根室）

ANS：衛生条件については、全共の北海道実行委員会の防疫出品対策班で道庁、獣医師会、道衛指協ならびノーサイ、または地元のいぶり農済などのメンバーで、全国的に牛を集めた場合にどうなるかという話をしていただき、この5種混生ワクチンが追加になったということです。なぜ生なのかと申しますと、6種混合不活化に含まれるワクチンの内、牛アデノウイルスに対するものが、5種混不活化ワクチンには入っていません。北海道全域から、または全国から牛が集まるというなかで、これまでの6種混が採用されてきて、ここでアデノウイルスというものを削っていいものかどうかを防疫出品対策班で検討したところ、やはりこれまでと同じ種類の病気に対しての防疫体制をとっていくべきとなりました。また、5種混については全国的に見ましても、生のほうの利用が多く、BVDにも対応しているということもあり、新たに入れることになりました。〔理事会では、各地の意見を総合して検討、今回提案の予防接種条件で行うことが確認されました。〕

3．インターネットなどを利用してショウをリアルタイムで見られるような方法を検討していただきたい。（上川）

ANS：今調べているところですが、早来の共進会場近くに未だ光回線が来ておりません。光回線が来れば対応できますので、今年は無理でも全共までには出来るよう検討しております。

4．ナショナルショウでは、5回以上の出品牛に対して表彰が行われているが、最近は地区予選会での経産牛出品頭数が減少しており、レベルの低いものも全道出品されているような状況になっている。このような状況では、5回以上出品してもすべて3等賞という可能性があり得る。表彰条件を満たしても1等賞と3等賞の5回では、その価値が大きく異なると思う。したがって、表彰条件の見直しが必要であると感じている。1等賞3回連続というような基準が良いと思うが、どうか。（十勝）

ANS：表彰条件については、地域性が影響するのも確かですが、それぞれの予選会を経て出品されているものと認識しています。経済企画委員会で検討したい。〔委員会で検討の結果、5年間も予選を通って出品するということは並大抵ではないし、組合が目指す長命連産ということからしても、現状の5回以上の出品を基準として表彰することで、変更しないことが確認されました。〕

≪2016年以降のナショナルショウについて≫

1．後検クラス該当牛が一般・後検のどちらのクラスでも出品可能ということであれば、後代検定クラスを設ける意味合いが薄れるのではないか。後検クラス該当牛は一般クラスに出品できない旨を明記すべきだと思う。（空知・留萌・十勝・釧路・上川）

ANS：疑問に思われるかもしれませんが、今年及び来年は一般・後検クラスのどちらにも出品可能です。ただし、2016年以降については後検クラス該当牛の出品クラスには制限を設ける予定です。

2．後代検定種雄牛の娘牛はオープンクラスに出せないというのはどういう理由なのでしょうか。生産者は同じようなレベルの牛で後代検定牛が2頭いた場合、後代検定クラスに出す、もう一頭はオープンクラスにも出すという選択があってもいいと思う。ナショナルショウに出せる未経産と経産の割合が4：6ですが、当地区共進会では非

常に経産牛が少ない。こういう規制をつくっていくと出品が難しくなっていく可能性がある。各部１頭、２頭とか３頭とかいうクラスが経産牛に出てくるということも起こり得る。当初、頭数が多いときは４：６の割合で出品もよかったのですけれども、近年は経産牛が少ない。そうなったときに６割といわれたら大変厳しい。ナショナルショウに出品しても入賞にからむかどうかわからない牛を持って行かなければならない。その中において、今度は地区の割合頭数も決まってくるわけで、そういった色々なことを加味したときに、そのような枠組みを決めないで、生産者にも２頭の後検牛を別々に出したい、そう考える人がいることを理解してもらいたい。（北見）

ANS：後代検定の部を設けたということのそもそも論になりますが、今までの後代検定の部というのは設けていても、その部に出すか出さないかは、出品者に委ねていたことがおかしいのではないかという意見が出てきています。今回の第14回全日本ホルスタイン共進会についても、後代検定の部は設けていますが、一般の部に出品することも可能という形で規程が作られています。これはもう変えられませんので、今年のナショナルショウも来年の全共予選も出品者の判断に委ねるということにしております。しかしながら日本の国産種雄牛の部をきちっと設けていて、去年のように「今年は国産の牛が勝った」「今年は負けた」という結果が出ている訳ですから、2016年度以降はきちっとした線引きのなかで行ったほうが良いのではないかという意見を取り入れ、また経済企画委員会の考えも一致し、提案したということであります。

３．出品区分について、全体的な出品頭数は現状と同じものの、第１部に後検クラスが増設されることで、今以上に時間を要することが予測される。その皺寄せがジュニアカップにかからないよう、十分に協議して日程調整して欲しい。ジュニアカップは後継者育成の場であるから、今後、益々盛大に開催されることを期待している。（十勝）

ANS：未経産牛で１クラス増えますが、全体の割当頭数の変更はありませんので、現状と同様な時間配分で実施可能と考えています。経産、未経産の割合も６割、４割と考えております。また、後継者育成は重要課題と考えていますので、今年の状況も踏まえながらジュニアカップが軽視されることのないよう、進行していきたい。

４．１部のJサイア・カーフクラスは２部と月齢がかぶっており、その必要性があるのか疑問である。2歳、3歳の乳器をつけた段階で皆さんに交配の判断してもらうということに重きを置いた方がいいのではと思う。近年、国産種雄牛をつけて出品しているなかで、経産においても輸入精液に対抗できるだけのレベルになってきていると思いますし、若い酪農家の方もそれを感じて交配計画を立てていると思います。2016年以降、このクラス替えがどうなるかわかりませんが、ゲノミック評価で世代間隔が短縮されるなかで、後代検定が今までのあり方と違ってくると思うので、これからの後代検定クラスについても検討をしていってほしい。（北見）

ANS：一番若いクラスに後代検定クラスを作るということは、それを見ながら次の交配計画を立てられるということです。良いと思えば、それで種付けし、２歳に向かっていってもらう、ということで考えております。2016年以降ということで取り組んでいますが、ゲノミック評価が一般的になって、世の中が変わってきたら、次のクラス分けも考えていかなければならないと思っております。

≪全共関係≫

１．第14回全日本ホルスタイン共進会の防疫体制について、安平町から要望・要請が出ているようだが、どのような体制をとるのか？全酪農家の心配事である口蹄疫について、日本は清浄国となったが、東アジアでは未だ猛威を振るっているのが現状で、海外からの来場者に対する防疫体制及び、国際線などの発着地空港での防疫体制を整える必要があり、国への要請も必要だと思う。（石狩・空知留萌・胆振日高）

ANS：安平町からの要請もありますが、昨年の九州で開催された全国和牛共進会では、口蹄疫対策として、会場入り口で全員がクエン酸による消毒ミストの噴霧を受けて入場するする方法をとっていました。安平町でも同じく共進会場に入る前に全員に協力してもらう体制をとり、更に関係者で牛舎内に入る人には踏み込み式の消毒マットを設置したい。また、安平町の共進会場は共進会関係者の方々のみとし、一般の消費者の方には札幌

会場に集まっていただき、消費拡大のイベントを開催したいと考えています。

実行委員会構成団体には道庁も入っており、衛生管理要領を作成し農水省にも要請し承認を得ております。空港についても、道庁と協議し徹底して進めていきたい。

２．全共に向け、去年一昨年と役員の推薦委員として各地区から10人集まってお話していたのですが、何かひとつお手伝いできないかという話がありました。会場も二ヵ所になり、盛況に行うということで、スタッフ関係等も不自由されるのではと考えます。もし必要であれば、推薦委員もボランティアとして力を貸したいと思っております。自分たちにとっても最初で最後の全共開催になるかもしれませんので、北海道大会の大成功を願っております。みなさんと役員の方々にご検討願いたいと思います。（全地区）

・来年の全共に対して、出場を目指しておりますが、安平町にある共進会場ということで出品以外でも関わり合いができないかという意見があります。具体的に何ができるかはわかりませんが、お手伝い等があれば当地区のホルスタイン協議会等に声をかけてもらえばと思います。（胆振・日高）

≪審査部関係≫

１．今般４名の認定審査員が60歳定年となったが、実際に審査をされている人もいるので、60歳定年では早すぎると思うが。（空知・留萌・釧路）

ANS：積極的に若年層を認定したいということから60歳定年制を設けています。新しい人が増えると、審査をしないで認定を終える人が出てくるので年令で線を引いております。再度検討してみたいと思います。〔認定者の中には研修会への不参加も多く、その解消を先に考えるべきであることなどが議論され、また、認定を外れても共進会の審査はできることなどから委員会で検討の結果、定年年齢の見直しは行わないこととしました。〕

２．サクセッサープログラムへの組合員子弟の参加者に対し、旅費の一部助成をお願いしたい。（釧路）

ANS：全道的に酪農家が減るなかで組合員のメリットということも含めて、後継者育成を重要な事業として実施しています。全面的な支援はできませんが、経済企画委員会で検討したい。〔委員会で検討の結果、本事業は後継者育成事業であり、組合員、非組合員という捉え方で区別すべきではないという意見が大勢を占め、また、研修費を徴収していませんので、組合員の子弟に限った旅費助成は行わないこととしました。〕

≪経済部関係≫

１．海外では、ゲノミック評価の高い牛の個体販売が高値で行われているようだ。ゴールデンセールでもゲノミック評価を持つ個体を販売してみてはどうか。（空知・留萌）

・北米等では、ゲノミック情報により仔牛の値段が高くなっている。ゴールデンセールでは出品は生後７カ月以上となっているが、アメリカでは生まれていない牛の第一選択権や、生まれたばかりのゲノミック評価が出ている牛は、非常に高い値段で取引されているようだが、将来、セールなどでそのようなことを検討していただきたい。（上川）

・セール牛のゲノミック評価の基準はあるのですか。（胆振日高）

ANS：出品牛のゲノミック評価については、遺伝評価であり、能力基準の一つと考えております。現在、北米ほどの高い数値で評価は出ておりませんが、経産牛のEBVを基準に考えていただきたいと思います。今年のセールにはゲノミック評価を持つ牛が出品されると思いますし、付加価値として積極的にPRしたいと思います。将来は、ゲノミック評価の高い将来性のはっきりした若牛のセールもやりたいとは思いますが、日本ではまだ本牛を見ながら買っていただくお客様が多く、出品基準としては取り入れたいと思います。なお、セール出品牛が生後７か月以上と設定しているのは、ヨーネ病の検査が７カ月令以上でなければできないためです。

写真は石狩地区協議会

2014 GOLDEN NATIONAL SALE

ゴールデン ナショナル セール

出場牛の申し込み受付開始

申込締切期日:5月23日(金) 選定開始:6月上旬より

今年も９月の第16回北海道総合畜産共進会の付帯行事として、ゴールデン ナショナル セールを開催いたします。高能力・高インデックス(高ゲノミックス評価値の育成牛を含む)・ショウタイプの優れたファミリーを形成しているなど、組合員皆様の自慢の優良基礎雌牛の出品をお待ちしております。最高の状態で出品と販売ができるよう準備と管理に努めますので、ご協力よろしくお願いいたします。

なお、今年より次の３項目が変更となりましたので、ご理解の上お申込みお願いいたします。

① 出品者の申込資格は、当組合の組合員、またはその同一家族、あるいは組合員が構成員の牧場であること。

② 本牛が第16回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」に出場し、１等賞、または２等賞に入賞した牛は、飛び入り申込みを受付けしますが、当組合の組合員、または組合員への申請中である事が条件となります。

③ 販売手数料は、出場牛全て(自己管理・飛び入り申込含む)牛代の10%(消費税別途)となります。

★衛生検査は、ヨーネ病・牛白血病等の検査を条件とし、生後７カ月令以上です。
★予防接種は、牛呼吸器病(５種混生または６種混合不活化ワクチン)、アカバネ病の接種が必要です。
セール出場牛に決定しましたら、より良い状態で出品できるよう次のことを尊守する事も条件です。
① 出場牛の写真撮影にご協力下さい。
② 出場牛の調教を励行して下さい。
③ 輸送前日に牛体洗浄・頭・頸・四肢の毛刈りを行なって下さい。

ゴールデン ナショナル セール開催要領

1．日　　時：平成26年９月27日(土)17時より
2．場　　所：北海道ホルスタイン家畜市場(安平町)
3．出場頭数：50頭
4．取引方法：セリ売(主取りなし)
5．出 品 者：北海道ホルスタイン農業協同組合の組合員、またはその同一家族、あるいは、組合員が牧場の構成員であること。
6．出場牛の資格
(1) 体型・資質の優れた雌牛で、疾病・悪癖のないもの。
(2) 血統濃度が100%のもの。
(3) 生後７ヵ月以上のもの(セール当日)
(4) 母・祖母が次の成績を満たしているか、または現在検定中でその成績を得る見込みのもの。
・体型得点　　80点以上
・乳　　量　　10,000kg以上
・乳 脂 量　　1,000ポンド(454kg)以上
なお、母牛が初産検定中の場合は、乳量8,500kg以上、乳脂率4.0%以上の成績を得る見込みのもの。

⑸ 前記⑷の資格を満たしていなくとも、本牛が共進会に出場し上位入賞の実績があるもの。または将来共進会で上位入賞が見込めるもの等と主催者が特に認めたもの。

⑹ 本牛が第16回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」に出場し、1等賞または2等賞に入賞したもの。

6．出場牛の衛生条件

⑴ ブルセラ病・結核病・ヨーネ病・アカバネ病・牛呼吸器病（5種混生または6種混合不活化ワクチン）の「衛生検査・予防接種・健康検査」を済ませ、獣医師が発行する証明書を提出しなければならない。

⑵ 牛白血病の衛生検査を受け、陰性である旨の証明書が必要です。

⑶ 真菌症等の皮膚病に罹患していないこと、及びイボ等体表（乳房も含む）に異常のないもの。

7．出場牛の選定後の条件

⑴ 主催者の承諾なしに、売却または売約しないこと。

⑵ 疾病または事故で欠場の場合は、獣医師の診断書を添え速やかに主催者へ連絡すること。

⑶ 出場牛の売却価格は、主催者に一任すること。

⑷ 出場牛はセリ落し後10日間の預託経費、ならびに引き渡し後、先天性生殖器奇形・盲乳など優良雌牛として、著しく機能を損なう事故が発生した場合の一切の損害等は全て出品者の負担とする。

⑸ セール出場牛の上場順序は、セール当日の朝主催者が決定する。

⑹ セール開催日前3日間と、開催日および翌日までの5日間の管理は主催者が行う。

⑺ 出品者はセール出場決定後、出場牛を清潔に保ち発育を良くし、完璧な状態で主催者へ引き渡す事が出来るよう管理すること。

⑻ セール会場到着時点で、内部疾患や長期治療を要する外傷等、セール出場牛として不適切と主催者が判断した場合は、これを返却しその経費は出品者の負担とする。

⑼ 出場牛の名簿体裁は主催者に一任する。

⑽ 出品者は出場牛の輸送前日に、牛体洗浄と頭・頸・四肢の毛刈りを行ない、主催者が手配した家畜車に積み込むこと。

⑾ 出品者は管理上、出場牛の調教を励行すること。

8．　欠場に伴う取扱い

⑴ セール申込牛が下見選定し、出場が決定した後に欠場する場合、それまでに発生した経費については、出品者がその実費を負担するものとする。（写真代、雑誌広告、セール名簿登載料、輸送費等）

⑵ 出場牛の選定後の条件⑻に該当する場合についても、出品者が実費を負担するものとする。

9．手数料

全ての出場牛（自己管理、飛び入り含む）について牛代の10%（消費税別途）。

（血統能力調書代、事故共済金を含む）

10．申込期限

平成26年5月23日（金）まで、登録番号・名号・授精月日・供用種雄牛を経済部宛お知らせ下さい。

（TEL 011-726-3114 FAX 011-700-2837）

11．選定・写真撮影

平成26年6月中旬までに下見選定を行い、7月中旬までに写真撮影を終了します。

12．その他

飛び入り参加の申込牛も、牛白血病検査と血統能力証明書が必要ですので、事前にご準備下さい。

2013ゴールデンナショナルセール最高価格牛
レデイスマナー G キヤンデイス テイアラ ET（父コムスター・リー）
広尾町・佐藤孝一さん出品　宮城県・佐藤武彦さん購買

克冬制夏我等道　神内ファーム21を訪れて・・・

昨年の晩秋、当組合の女性研修会に同行し空知の浦臼町にある神内ファーム21を見学させていただきました。神内ファーム21は、今までの農業にあった固定•既成の概念から大きく異なる独自の考え方によって農場運営が行われており、その成果がここ数年の間に次々と具現化しています。

広大な浦臼本場の全景

管理棟•社宅

■ 社名：農業法人神内ファーム21
■ 設立：平成９年８月４日 ■ 資本金：130億円
■ 従業員数：65名 ■ 代表取締役：神内了一
■ 施設概要　総面積：約2,000ha
〈浦臼本場〉主要施設：センターハウス（事務所棟、研究室、ゲストルーム、食堂、娯楽室）/従業員住社宅23戸/従業員寮30室 塾生用住宅15棟 植物生産工場：太陽光温室12室、人工光温室13室、氷貯蔵槽２槽、フイルムハウス22棟 肉牛関連施設 羊関連施設
〈牧場〉浦臼本場含め道内外７牧場 牧場総面積：1,630ha 肉牛総飼養頭数：4,200頭

念じれば通じる〜

神内ファーム21は、大手消費者金融機関SMBCコンシューマーファイナンス㈱の前身であるプロミスを立ち上げた神内了一氏が私財を投げ打って設立した農業法人です。神内氏は、香川県の小さな村の小作農の三男として生まれ、幼少期より北海道の開拓民を志し、青年時代には戦後の動乱の中、大樹町にあった開拓実習訓練所に苦労の末たどり着き、既に受付が終了していた訓練生の補欠として入所が認められましたが、前年の冷害により米の配給が閉ざされたためにせっかくの補欠入所が取り消されてしまい、終戦の翌年、真冬２月の北海道に職は無く困窮極まり、再挑戦を心に誓って郷里に戻りました。その後、紆余曲折を経て創業したプロミスを業界屈指の大会社に仕立て上げましたが、神内氏は「農業は自分の天職である」との信念を持ち続けて50年が経過し、70歳となった時に北海道の土地600haが手に入るとの話しを受けて“念じれば通じる”の思いを持って決断し、浦臼町に農場を開きました。

克冬制夏〜

広い北海道において生産性を上げるには雪に覆われた半年間の冬を克服することが肝要と考え“克冬制夏（こくとうせいか）我等道•−冬を克服し夏を制御する−”を基本コンセプトに、ハイテクを駆使した施設“植物生産工場：プラントファクトリー”を建設し、冬場においても天候に左右されないで様々な作物を生産し得る太陽光•人口光の温室•管理室•育苗室を備えて安定的生産への研究を進めています。

南国果実〜

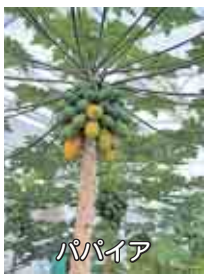
冬期でも作物生産できる暖房付フイルムハウスでは、既に北海道にある特産品と競合しない新しい作物として南国果実に注目し、バナナ•パパイア•マンゴー•イチジク•ドラゴンフルーツ•パッションフルーツなどが生産されています。本来であれば５月から７月が食べ頃のマンゴーにおいては、季節を越えて、季節をコントロールして、今まで日本になかった“冬穫りクリスマスマンゴー”を出荷•販売しています。

南国果実を生産する温室群

マンゴー

完熟すると果実は枝から外れ落ちるためネットに入れ吊す

モンキーバナナ



パパイア

スターフルーツ

肉牛生産 神内和牛～

『北海道の草地は全国の84%を占めているが、道産肉牛の生産量は全国の15%であり、年々低下傾向にある。広大な草地を有効利用することにより牛肉の道産比率を高めていくことは、これからの北海道に果たせられた大きな使命‥。他国に依存しないで、安全で日本人の嗜好にあった牛肉を国内で大量・安価に生産するのが本来の姿‥』この取り組みにより、現在、北海道６ヵ所・宮崎県１ヵ所に牧場を設けており、牧場の総面積は1,630ha、飼養総頭数は4,200頭に及んでいます。

これら牧場で飼養されている肉牛の“神内和牛”は、あか毛和牛と黒毛和牛で、子牛は親牛とともに放牧され、たくさんの母乳により免疫力の強い牛となり、生後３～４ヵ月で離乳させ、安心な自前の粗飼料によって育成されます。そして、サイレージは肉への鉄分含有を高めるため24ヵ月令まで給与し“神内和牛”として仕上げられます。子牛の段階から広大な草地に放され、安全に配慮したクリーンな環境整備によって健やかでストレスのない良質の牛を育てることで“神内和牛”の肉質向上を図っています。

放牧中のあか毛和牛

クリーンで整備の行き届いた牛舎

健やかなあか毛和牛

【あか毛和牛】もともとは使役牛として導入されていた朝鮮牛を、明治時代の後半よりシンメンタール種などと交配・改良されたものがベースとなり、熊本県と高知県で独自の改良を進めて現在に至っています。性格は温厚で耐寒性・耐暑性にすぐれており、放牧に適した品種であり、肉質は脂の含有量が12%～15%と少なく（黒毛和牛では50%を超えるものも‥）、うま味のある赤身が多いヘルシーでまろやかな肉の牛として注目されています。現在、日本では24,000頭ほどが飼養されています。あか毛和牛は［褐毛和種］と命名され、［黒毛和種］［無角和種］とともに日本固有の肉用種牛に認定されています。

施設型農業の確立～

先にフイルムハウスでの南国果実の栽培を紹介しましたが、冷暖房施設が加わった温室ハウスではその建築費と維持費に見合う収益が見込める作物選定と栽培の体系を確立させる必要があり、その答えとして『北海道に南国を創造し冬に夏を作り出す』南国果実が選ばれたのでしょう。

また、フイルムハウスとは別の作物生産施設としてプラントファクトリーがあります。プラントファクトリーは、温室棟と管理棟で構成されており、コンピュータによって人工照明、温湿度、CO_2濃度、換気窓の開閉など作物生産に係わる環境制御が自動的に行われており、冬期間に大型水槽で作られた氷を用いた夏場の温室冷房システム（季間氷蓄熱空調システム、冬は水が凍結する時の潜熱、夏は氷が溶解する時の潜熱を利用）が設けられ、出荷野菜の予冷にこのシステムから０℃の冷気を取り出します。

第６次産業化～

施設型農業の確立により、今までの北海道にあった自然環境による収入不安定の要素を取り除き、一年を通した安定的収穫を企み、さらに、生産・加工・流通・販売を結合した第６次産業化を推し進め、農業から始まる新しいビジネス形態の創出を考えていくとのことでした。

“克冬制夏我等道”『テクノロジーの力を上手に利用し、北国に南国を創造し冬に夏を作り出す‥』言葉通りの農場運営を明確に現していた神内ファーム21は、未来に向かう北海道農業の有るべき一つの形を示しているように感じました。

（JHBS管理部長 城丸）

写真・解説：JINNAI FARM21〔神内ファーム21会社案内〕から一部引用

第５回理事会の概要

平成26年３月25日(火)午後１時15分
当　組　合　３　階　会　議　室

【報告事項】

１．前回理事会(１/24)後の主な処理事項について

１/27	北海道ブラウンスイス協議会平成26年度定期総会
28	北海道ジャージー酪農振興協議会 平成26年度定期総会
１/31 ２/２-13	地区組合員協議会(10地区)
10	北海道ジュニアホルスタインクラブ運営委員会総会
11	北海道ホルスタイン改良協議会　総会
16	道南地区早来家畜市場協力会　総会
17	ジェネティクス北海道　全道運営委員会
20	全国ホルスタイン改良協議会　通常総会
28	北海道酪農検定検査協会　中央研修会 組合員加入依頼文書を役員及び 地区協議会事務局へ事前送付
３/１	第46回宇都宮賞　表彰式・祝賀会
３	日ホ北海道支局　公認会計士による監査 ナショナルショウ出品者(過去３年)非組合員98名 に加入依頼文書を送付
５	第14回全共　第３回防疫出品対策班会議
12	北海道酪農検定検査協会　理事会
13	全酪連　ブロック別会長・組合長会議
17-19	日ホ内部審査研究会
18	第14回全共　第３回総務企画班会議
20	日ホ　第269回理事会
24	総務委員会　経済企画委員会
25	JHBS取締役会

２．地区組合員協議会における主な意見要望について

３．総務委員会報告について

４．経済企画委員会報告について

５．日ホ　理事会の報告について

【協議事項】

１．組合員の加入・譲渡・脱退について
期首:996名　加入:10名　脱退:21名　現在:985名

２．平成25年度業務状況・収支決算見込み並びに当期利益金処理(案)について

３．職員給与の改定(案)について

４．定年延長に係る諸規定の改正(案)について

５．平成26年度事業計画および終始予算(案)について

６．第16回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」について
(1) 開催要領及び日程について
(2) オフィシャル及びアソシエートジャッジ等について
(3) 2014ゴールデンナショナルセール開催要領について

７．北海道全共後のナショナルショウ出品区分について

８．共進会認定審査員の定年について

９．今後の日程
・決算監査会　　４月17日(木)・18日(金)
・第６回理事会　４月28日(月)

10．参事の任免及び特別功労金について

当組合役員〔平成25年～平成27年期〕
前列左から、浦 理事・橋本理事・小椋副組合長・北 組合長・齋藤専務理事・大迫代表監事・水本理事・山口理事
後列左から、花岡監事・串田理事・中田理事・山田理事・岩本理事・中嶋理事・成田理事・澤田監事

□□ 人事発令 □□

発令事項	氏名	前職
（定年退職）		
平成26年３月31日付		
定年により職を解く	柾谷　智史	参事
（嘱託職員）		
平成26年４月１日付		
嘱託職員を命ずる		
総務部付参与を命ずる	柾谷　智史	
（昇　格）		
平成26年４月１日付		
参事兼総務部長を命ずる	藤澤　義美	副参事兼経済部長兼総務部次長
経済部長兼市場課長を命ずる	後藤　力	経済部市場担当次長兼市場課長
（異　動）		
平成26年４月１日付		
経済部流通課勤務を命ずる	高木　俊也	登録部証明課技師
登録部証明課勤務を命ずる	石村　暁子	総務部総務課書記
（採　用）		
平成26年４月１日付		
職員に採用する		
登録部証明課書記を命ずる	久美屋　佳子	臨時職員

前参事 柾谷智史の定年退職に伴い、３月25日開催の第５回理事会において、藤澤義美副参事が新参事に任命され、４月１日付けで発令されました。

【藤沢義美参事の略歴】

昭和30年９月生れ　　58歳
（空知郡中富良野町出身）
昭和53年３月　帯広畜産大学卒業
昭和53年４月　当組合　入組
昭和55年２月　カナダ・ローマンデール牧場実習（１年間）
昭和58年10月　㈱JHBS出向
平成６年５月　組合復職　審査検定部審査係長
平成７年８月　審査部審査課主幹
平成７年９月　（社）日ホ 体型審査委員任命
平成９年５月　審査部審査課長
平成13年10月　総務部総務課長
平成21年６月　総務部次長
平成23年６月　経済部部長
平成25年６月　副参事（兼）経済部長

浴石随筆 その八

「あまり奇麗な話ではないナァー！」と、お叱りを受けるかも知れない。後日、皆様のご様子も伺いたいと思い、敢えて記述した。何卒、我慢してお読みいただきたい。

（Ⅰ）筆者は小用を足したとき、滅多に手を洗わない。汚いものに触ったという認識は全く無い。平素から丁寧に洗っている。「身体髪膚之ヲ父母ニ受ク」と云ってご先祖様から有難く拝領したものであるから、粗略に、あるいは汚れ物のように扱ってはいけない。公衆トイレでそれとなく拝見させていただいているが、不肖のような男が、多いとまでは言わないが結構多数いらっしゃる。なかには乱暴にも片手で引っ張り出して用を足し、腰をヒョイと屈めてひっぱり込み、洗わずに急いで出ていく人もいらっしゃる。

稀にだが、用が済むとその手で尻のポケットから、畳んだハンカチを取り出し、これを口にくわえてから、丁寧に手を洗っているお方を見掛けることがある。気持は分るが、ハナシの前後と順序がチグハグの気がしてならない。あるいはヒヨッとして聊か小振りのお道具をお持ちなのかと、深く静かにご推察申し上げている。

（Ⅱ）筆者は昭和４年の早生まれである。五十歳台までは終始ボットント〇レのお世話になっていた。戦後、東京から札幌へ帰ってくるのに「氷川丸」という太平洋航路の豪華客船に乗ったことかあった。東京が未だ焼け野原であった頃である。氷川丸で生れて初めて洋式トイレにお目にかかった。どうやって用を足すのか全く分からなかった。

便器は陶製ではなく、金属製のホーロー挽きであったように記憶している。サテ、便器の蓋を上げてみた。馬蹄形の便座があった。---お笑いくださるナ---。馬蹄形の物に両足で靴のまゝ上かって、便座の蓋を両手で抱きかかえるようにしがみ付いてみた。左手に太い紐が触れたので引っ張ってみたら水が勢い良く流れた。水洗を会得したが、いよいよ分からなくなって、便意はすっかり喪失した。「大」のほうは港へ着くまで必死に我慢した。---くるりと、蓋に背を向ければ良かっただけの話なのだが---。

《余談だが当時の列車は、急行は無く、総て各駅停車。上野から青森までの駅の数は150余であったと記憶している。津軽海峡には浮遊機雷があったがレーダーは無く、船員の目視で海峡を渡った。壱岐丸という貨物船は薄い鉄板一枚の船であったから、浮遊機雷に触れたら轟沈ものだなアーと、震えながら乗っていた。》

今になって考えてみると、何処の港へ着いたのか？、思い出せない。下船して何処かのトイレで溜め込んでいたものを全部出し終えたとき、

---アヘ、これで少しはウンがひらけるナァー！---

と思った次第である。

人生の後期３分の１は水洗トイレの時代になった。お陰で大痔主から開放された。いま、日本観光・お帰りのお土産に、温水便座がとても売れているとＴＶで聞いた。

（Ⅲ）タイを訪ねて水上マーケットへ行く日になった。バリバリッと物凄いエンジン音。細長い船。水の上にある家屋を縫うように水路がある。船のエンジンは殆どといっていゝ程「いすず」の中古品であるという。「いすず」の中古品には抜群の信頼があった。

縦に細くて長い船体をとても上手に操るのである。細い水路をビュンビュン飛ばすから水しぶきも相当ひどい。なんとも不思議な光景を幾つも見た。

妙齢のご婦人が首のところまで水に漬っている。もうお分かりの方もいらっしゃると思う。水中のご婦人は目的のある顔つきをしていらっしゃるのだが、目はうつろで、65度くらいの角度で空の片隅をジッと見詰めていらっしゃる。早く済ませたいト----。

細長い船の真うしろに同行のＮ氏の奥さんが座っていて、そのまた後ろにＮ氏が座っていた。水中のご婦人のすぐ横を船首が水を切った途端、バシャッと大きな音を立てて水の塊がＮ夫人にもろにかかった。その後ろにいた旦那のＮ氏がすかさず言ったものである。

--「お前、運が付いて良かったなァー」--

Ｎ夫人の撫然としたあの時の表情は今も忘れられない。拙稿をお読みのご婦人の皆様。タイの水上マーケットへ行かれる日は、よくよくお覚悟召されませ！

（蛇足）月夜の晩。「トイレで見る月。運の尽き！」という実にくだらん洒落がある。

--聊か匂いの付いた話ばかりでご免なさい！--

浴石

体型審査予定

体型審査の予定は次のとおりです。
も寄りの登録取扱団体にお申し込み下さい。

日程　6月3日～6月14日

□十勝地区
中札内・更別・大樹・広尾・忠類
□釧路地区
標茶・浜中・厚岸
□根室地区
標津・上春別・中春別・計根別(一部)
□網走地区
北見・相内・上常呂・置戸・訓子府・端野・留辺蘂
温根湯・津別
□留萌地区
全管内

日程　6月17日～6月28日

□上川地区
全管内
□後志・渡島・檜山地区
全管内
□十勝地区
新得・清水・芽室・鹿追・士幌・上士幌
□網走地区
丸瀬布・遠軽・上湧別・湧別・芭露・生田原・白滝

日程　7月1日～7月12日

□石狩地区
全管内
□空知地区
全管内
□十勝地区
豊頃・浦幌・本別・足寄・陸別
□釧路地区
釧路・阿寒・鶴居・幌呂・白糠・音別・弟子屈
□根室地区
中標津・計根別
□網走地区
紋別・上渚滑・雄武・興部・滝上・西興部

北海道ホルスタイン農協　家畜市場成績

最近の家畜市場成績（4月15日開催）

種類	内訳	出場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格
乳用牛	育成牛	1頭	1頭	237,600円	237,600円	237,600円
	初妊牛(88%以上)	－	－	－	－	－
	初妊牛(88%未満)	－	－	－	－	－
	経産牛	－	－	－	－	－
初生犢	ホル雄	80	80	82,080	1,080	59,792
	ホル雌	－	－	－	－	－
	ホルフリー	3	3	23,760	5,400	11,520
	黒毛雄	－	－	－	－	－
	黒毛雌	1	1	359,640	359,640	359,640
	F1雄	45	44	254,880	1,080	183,698
	F1雌	49	49	190,080	55,080	143,177
	乳用種雄	－	－	－	－	－
	乳用種雌	－	－	－	－	－
	肉専用雄	－	－	－	－	－
	肉専用雌	－	－	－	－	－
肉用牛	1年以上ホル雌牛	93	93	248,400	54,000	161,686
	その他肉用牛	41	41	564,840	70,200	331,218
馬		3	3	216,000	162,000	190,800
緬羊・山羊		－	－	－	－	－
合計		316	315	564,840	1,080	157,786

乳牛予想相場表

（平成26年5月予想）

規格	月齢	中	上
血統濃度88%未満	6～8カ月	24～28万円	25～30万円
	9～11〃	25～30	26～32
	12～14〃	24～33	26～33
	初妊牛	45～50	47～52
同上概ね88%以上	6～8カ月	24～28	25～30
	9～11〃	25～30	26～32
	12～14〃	26～33	26～33
	初妊牛	45～50	47～52
成績証明娘牛	6～8カ月	25～30	26～32
	9～11〃	26～32	26～33
	12～14〃	28～33	28～35
	初妊牛	47～52	53～

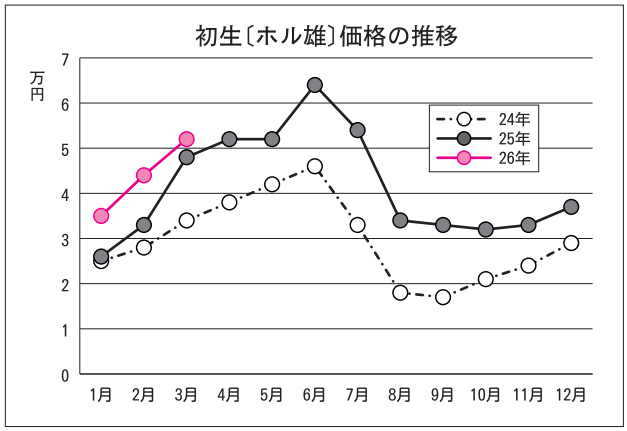
（注）初妊牛は7～8月に分娩するもの。

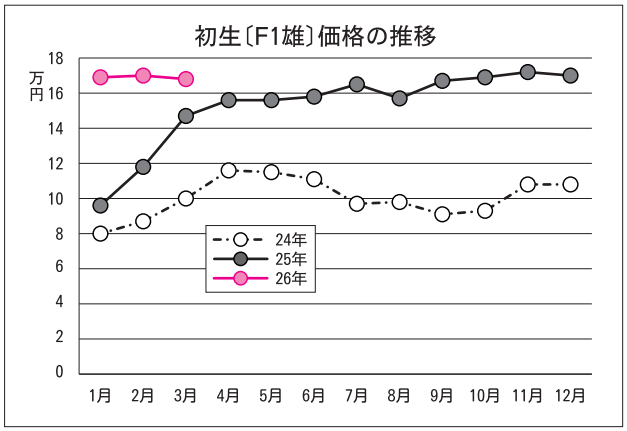
初生〔ホル雄・F1雄・F1雌〕価格の推移

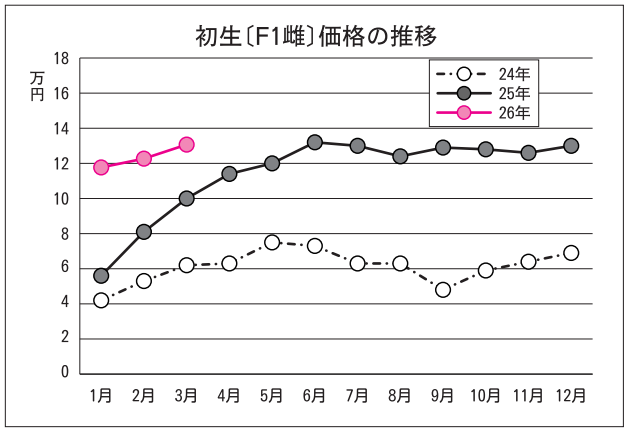
（単位：万円）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホル雄	3.5	4.4	5.2									
F1雄	16.9	17.0	16.8									
F1雌	11.8	12.3	13.1									

（注）価格は各月でセリが成立したものの税抜き平均価格です







北海道ホルスタイン農業協同組合

第68回通常総会

日時：平成26年5月28日
水曜日
午前11時00分

場所：かでる2･7
札幌市中央区北2条西7丁目

組合員の皆様多数のご出席をお待ちしております！！

ひとこと

近年、香水やボディ・ヘアなどのケアアイテムがよくテレビのCMで宣伝されているが、特に洗濯洗剤の香り付柔軟剤製品がここ数年めざましく増え、さまざまな形で「香り」を楽しむ消費者が増えている傾向がある。だが、香り付き柔軟剤の製品の人気が高まるにつれ、それに異議を唱える人も出てきているとのこと。大手洗剤メーカー担当者によると、年2回の消費者アンケートで柔軟剤購入の際に重視することは、2012年度以降はほぼ一貫して、「香りがよい」がトップ。柔軟剤の本来の目的である「肌触りよく仕上がる」は下回ったそうだ。

また、某新聞掲載によれば、香り付きの柔軟剤を使って洗濯して衣類に香りを漂わせることで、科学物質過敏症の人たちが、悲鳴をあげているとの声がある。微量の科学物質によって、めまい、ふらつき、頭痛、吐き気など様々な症状が生じており体調不良を訴える人が増えている。その患者数は全国で70万人とも言われている。札幌市のクリニックでも柔軟剤の香りで体調不良を訴える患者が増えており、クリニック院長は「数年前まではほとんどなかった」と驚く。最近ではパワハラ、モラハラ、巷に様々なハラスメントがあふれている時代になっているが、「香料公害」「スメルハラスメント」スメル(Smell)、つまり臭い・ニオイ。略して、「スメハラ」と言うらしい。本来、柔軟剤はほのかな香りのはずが海外製の柔軟剤がブームを呼ぶと、香りがどんどん強くなって次々に日本でも派手なCMで宣伝しているのをよく見かける。スメハラが厄介なのは自分では気がつきにくいという点だ。嗅覚は『順応』といって、長時間かいでいるとそのにおいに馴染み、自分では気がつきにくいということ。無意識に入れすぎ、つけすぎてしまうということも…。柔軟剤に限ってではないが…

私自身、ニオイには敏感でやはり強い香料は苦手で、頭痛、吐き気などの症状が出る。自宅で個々にアロマなどリラックス効果で香りを楽しむのは勿論自由ではある。しかし、一歩外に出た公共の場や集団生活の場などにおいては、社会人として「周囲への気遣い」「香りを感じさせない」ことがマナーになる場合もあることを忘れてはいけないと思うのです。

もしかして…、あなたは「香害」になっていませんか？ さてはて、自分には関係ないと思っていたのなら今一度確認を～

無香料オススメ隊.F隊員

頒価100円（組合員の購読料は賦課金に含まれています）